



「6年生を送る会」を開催しました。

2月28日(金)、2,3限目を使って「6年生を送る会」を行いました。1年生から5年生まで、各学年が趣向を凝らした出し物で、6年生を楽しませてくれました。1年生が6年生に首からお礼のメダルをかけている姿はとても微笑ましかったです。1年生の元気よくメッセージを言っている姿、楽器を使って校歌や青黄色という曲を演奏してくれている姿が素敵でした。2年生は「かさこじぞう」という国語の教材を使って寸劇をしてくれました。5人のかさをかぶったお地蔵さんと1人の手ぬぐいをかぶったお地蔵さんが出てきました。劇中、雪をはらっている姿が微笑ましかったです。3年生は「たしかなこと」という曲に合わせて手話を披露したり、ソーラン踊りをしてくれたりしました。「ソーラン踊り」では、持ち味の明るく元気な姿を見せてくれました。4年生は、なわとびを何種類かに分けて音楽に合わせて披露してくれました。回っている縄が複雑で、縄に入るのが難しかったかもしれません。頑張っている姿に手拍子や拍手が起こっていました。5年生は、「ちょっと待ったあ。私も言いたいことがある」と言って、次から次へと壇上に上がって、6年生に向けてメッセージを言っていました。リズムダンスでの最後の決めポーズは、かっよかったです。送る会の最後には、6年生がお礼の気持ちを込め、卒業式で歌う「桜の雨」を合唱してくれました。6年生を見る下級生のまなざしが、すごくあたたかくてほのぼのとした気持ちになりました。

「6年生を送る会」が終わった後、6年生から5年生へと引き継ぎが行われました。代表者が校旗を持って引き継ぐ姿は、おごそかな引き継ぎ式の中にも何か熱いものを感じました。その後、下級生、保護者、さら委員等、皆さんの拍手で6年生を見送りました。

今年度は、人数制限を設けず、保護者の皆様も多く参加していただいた「6年生を送る会」実施となりました。6年生は、多くの保護者、地域の方々に見送られ、とてもうれしかったことと思います。1時間半ほどの短い時間でしたが、みんなで有意義な時を一緒に過ごすことができました。

保護者、さら推進(CS)委員の皆様には、一段と寒い中、体育館での行事に長時間参加していただき、本当にありがとうございました。卒業式までの期間、子どもたちのことを、どうぞよろしくお願いいたします。

「水沢のみらいを考える会」「さら推進委員会(CS)」が開催されました。

2月28日(金)、18時から「水沢のみらいを考える会」が行われました。令和7年度から本校が小規模特認校制度を適用するにあたり、今年度のこれまでの動きと、この制度を適用して転入学する児童の様子等について報告を行いました。本校が前面に押し出したい学校の特色、それに向けて今年度行ってきた活動等について紹介をしました。委員の皆様からは、「お茶に関わる活動をどの学年にも位置付け、一つの柱にしていくのがいい」「学校がどのような特色を出そうとしているのか、具体的にわかりやすく活動を知らせるといい」「小規模だからこそできる、異学年との合同授業や他校との交流活動を深化させてほしい」といった意見が出されました。

今回出された意見を参考に、来年度は現在の活動内容を整理、深化させ、学年の柱として位置づけ、体系化していきたいと考えています。

「水沢のみらいを考える会」の後、引き続き「さら推進委員会(CS)」が行われました。その日の午前中に「6年生を送る会」を参観していただいたこともあり、「1年生が6年生に感謝の気持ちを伝えているのが微笑ましかった」「6年生の合唱をしっかりと見ている下級生のまなざしがよかった」といった感想もいただきました。また、普段の学校生活において、「なかなか子どもがあいさつをしないし、大人もあいさつを交わさなくなっている」「同じ家で生活していても、それぞれが別の部屋にいて、なかなか子どもとの会話がな」といったご意見もいただきました。子どもたちには、水沢地区に暮らす地域の一員としての自覚を持って、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

「保護者・児童アンケート結果」についても「さら推進委員会(CS)」の委員の皆様と共有させていただきました(学校だより「ふれあい」第54号として発行済)。アンケートでいただきましたご意見は、教職員で共有し、今後の学校運営に活かしていきたいと思っています。

(文責 北住 昌文)

